

平成 28 年度 事業報告書

1. 助成事業

平成 28 年度の助成事業は、研究費助成、海外渡航費助成および長期間海外派遣滞在費助成の公募を行い、総額 1,385 万円を実施しました。平成 28 年度公募の概況は、以下の通りです。

(1) 研究活動費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する研究費の助成を目的とした研究費助成事業は、平成 28 年 3 月 1 日から 4 月 15 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、70 件の応募があり、選考委員会において、以下の 44 件の研究に対して助成を行うことを決定し、1,120 万円の助成を実施しました。

- | | | |
|----|---|--------|
| 1 | 難治性がんの効果的治療を目指した革新的薬物送達技術の構築
岡山大学 大学院 医歯薬学総合研究科 准教授 大河原 賢一 | 400 千円 |
| 2 | メカニカルストレスを利用した心筋細胞のストレス応答機能獲得のしくみ
岡山大学 大学院 医歯薬学総合研究科 助教 片野坂 友紀 | 300 千円 |
| 3 | 舌癌に対する Treg 抑制療法の検討
岡山大学 大学病院・耳鼻咽喉科 講師 折田 頼尚 | 400 千円 |
| 4 | モリブデンの特徴を活かした炭素-水素結合直接変換反応の開発
岡山大学 大学院 自然科学研究科 助教 浅子 壮美 | 300 千円 |
| 5 | CD44 を標的するリポソームの開発
岡山大学 大学院 自然科学研究科 講師 笠井 智成 | 280 千円 |
| 6 | 旭川祇園地区における礫河原再生事業が河川の物理環境に与える経年的な影響の検討
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 吉田 圭介 | 300 千円 |
| 7 | 旭川感潮域のケレップ水制域における塩水流動の現地観測および数値解析
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 助教 赤穂 良輔 | 400 千円 |
| 8 | 児島湖人工干潟における植生遷移並びに生物多様性を展開するメカニズムの解析
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 助教 中嶋 佳貴 | 300 千円 |
| 9 | ウシ卵管の律動的自発収縮を制御するペースメーカー細胞の探索
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 助教 山本 ゆき | 380 千円 |
| 10 | 非モデル珪藻種の比較解析に基づくバイオシリカナノパターン形成機構の解明
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 助教 根本 理子 | 250 千円 |
| 11 | アブシジン酸誘導気孔閉口に関与するカルシウム依存性タンパク質リン酸化酵素 CPK の機能解析
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 助教 宗正 晋太郎 | 350 千円 |
| 12 | 二次曲面とそのクリストッフェル変換の研究
岡山大学 大学院 自然科学研究科 准教授 藤森 祥一 | 250 千円 |
| 13 | ゲノム編集技術および透明化技術を用いた 1 細胞レベルでのエピジェネティック修飾の解析
岡山大学 資源植物科学研究所 准教授 長岐 清孝 | 250 千円 |
| 14 | 非アルコール性脂肪性肝炎におけるアラキドン酸代謝酵素の役割解明
岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 川上 祐生 | 170 千円 |
| 15 | Acyl-CoA Synthetase Short-chain family member 3 の機能解析
岡山県立大学 保健福祉学部 助教 吉村 征浩 | 150 千円 |
| 16 | 他の組織で収集された情報を用いたソフトウェア不具合発見手法の性能評価法の確立と性能改善手法の開発
岡山県立大学 情報工学部 助教 天寄 聡介 | 150 千円 |

17	ステートマシン図を用いた Web アプリケーションの自動テスト環境の開発 岡山県立大学 情報工学部 准教授 横川 智教	150 千円
18	SiC ナノウイスカの内部生成による C/C 複合材料の機械的特性向上 岡山県立大学 情報工学部 助教 小武内 清貴	150 千円
19	地域在住高齢者の自主的な介護予防、健康づくり活動を促進する支援プログラムの開発 岡山県立大学 情報工学部 教授 高戸 仁郎	200 千円
20	高強度・高リサイクル性マグネシウム合金の開発 岡山県立大学 情報工学部 准教授 福田 忠生	180 千円
21	わが国との比較的視点で捉える台湾における武徳殿建設の経緯についての分析研究 岡山県立大学 デザイン学部 准教授 西川 博美	150 千円
22	協同研究「現代日本陶芸のデザインと技法」 岡山県立大学 デザイン学部 教授 久保田 厚子	150 千円
23	総社商店街通りの空き家と空き地の利活用のための住民参加を促す手法に関する研究 岡山県立大学 デザイン学部 教授 福濱 嘉宏	150 千円
24	電子分極で駆動する有機強誘電体研究のための反射型旋光分光顕微鏡開発 岡山理科大学 理学部 准教授 山本 薫	300 千円
25	RNA による DNA トポイソメラーゼ II α 制御機構の解析 岡山理科大学 理学部 講師 河野 真二	300 千円
26	微量の水を用いた高分子/疎水性イオン液体の相挙動の制御と機構解明 岡山理科大学 理学部 講師 大坂 昇	160 千円
27	細胞内エネルギー代謝シフトを利用した iPS 由来肝細胞成熟化の検討 岡山理科大学 工学部 准教授 神吉 けい太	300 千円
28	MMS で取得した大規模全球画像群による高精度な空間検索 岡山理科大学 工学部 講師 太田 寛志	300 千円
29	人のバイタル・モニタリングによる寒冷ストレス評価ー冷たい局地風「肱川あらし」の事例ー 岡山理科大学 生物地球学部 准教授 大橋 唯太	300 千円
30	体力が低い中学生・高校生の生活習慣と生活の質 (Quality of Life) を解明する基礎的研究 岡山理科大学 教育学部 講師 笹山 健作	260 千円
31	複数の振動フィンを組み合わせた二次元推力偏向機構に関する実験的研究 津山工業高等専門学校 総合理工学科 准教授 細谷 和範	150 千円
32	ICT を活用した有害野生獣の捕獲システムの開発 津山工業高等専門学校 総合理工学科 特任教授 鳥家 秀昭	150 千円
33	青枯病菌エフェクターを利用したトウガラシ育種技術の開発 岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 流動研究員 中野 真人	160 千円
34	細胞内グルタチオン上昇活性に着目した酒粕加水分解物の肝障害抑制作用とそのメカニズムの解明 就実大学 薬学部 助教 川上 賀代子	390 千円
35	ヒトシトクロム P540 分子種の基質特異性の予測 就実大学 薬学部 教授 丹羽 俊朗	390 千円
36	含ケイ素小員環化合物の合成とその反応性の解明 倉敷芸術科学大学 生命科学部 教授 仲 章伸	120 千円
37	がん細胞の K ⁺ チャネル過剰発現を利用したクモ毒ペプチド発現ウイルスベクターの選択的抗がん作用 倉敷芸術科学大学 生命科学部 教授 岡田 誠剛	250 千円
38	ヒト姿勢制御におけるフィードフォワード制御の役割に関する研究 倉敷芸術科学大学 生命科学部 准教授 枝松 千尋	250 千円
39	DKK3 遺伝子をターゲットとした頭頸部扁平上皮癌制御 川崎医科大学 分子生物学 助教 片瀬 直樹	300 千円
40	加齢と腸内細菌叢の関係性から運動の老化予防効果を再検討する 川崎医療福祉大学 医療技術学部 教授 矢野 博己	300 千円
41	複数のカメラを用いた超高信頼防犯システムの開発 川崎医療福祉大学 医療技術学部 講師 近藤 真史	300 千円

- | | | |
|----|--|--------|
| 42 | 障害児の生涯健康記録の開発にむけた課題の検討～母子健康手帳の活用状況に焦点をあてた調査研究～
川崎医療福祉大学 医療福祉マネジメント学部 助教 三田 岳彦 | 180 千円 |
| 43 | 母胎の細菌感染が胎児の脳形成に与える影響の解析
川崎医療短期大学 医療技術学部 講師 上野 浩司 | 300 千円 |
| 44 | 保育士の早期離職予防のための「保護者-保育士間コミュニケーション自己分析尺度」の開発
山陽学園大学 総合人間学部 准教授 上地 玲子 | 280 千円 |

(2) 海外渡航費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外渡航費の助成を目的とした海外渡航費助成事業は、平成 28 年 3 月 1 日から 4 月 15 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、10 件の応募があり、選考委員会において、8 件の研究に対して総額 100 万円の助成を行うことを決定しました。その後、1 件の海外渡航が中止となり助成金が返金されたため、今年度は以下の 7 件の研究に対して 85 万円の助成を実施しました。

- | | | |
|---|--|--------|
| 1 | 国際会議への参加及び発表
岡山大学 大学院 自然科学研究科 准教授 後藤 佑介 | 150 千円 |
| 2 | 第 25 回国際昆虫学会にてシンポジウムの主催、発表及び情報収集
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 高橋 一男 | 150 千円 |
| 3 | 第 42 回錯体化学国際会議にて研究成果の発表および討論
岡山大学 理学部 教授 鈴木 孝義 | 150 千円 |
| 4 | 北米神経科学会出席・研究発表（社会敗北ストレスによる抑うつ行動における熱ショックタンパク質の役割）
岡山理科大学 理学部 講師 橋川 直也 | 100 千円 |
| 5 | 国際結晶学会の研究会でのプレゼン
岡山理科大学 理学部 教授 森 嘉久 | 100 千円 |
| 6 | 国際研究集会への参加、研究発表（フェルラ酸エステルゼの構造と活性相関）
岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所 専門研究員 畑中 唯史 | 100 千円 |
| 7 | 国際会議への参加及び発表（熱伝導率の推定）
川崎医療短期大学 放射線技術科 准教授 矢納 陽 | 100 千円 |

(3) 長期間海外派遣滞在費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外派遣滞在費の助成を目的とした長期間海外派遣滞在費助成事業は、平成 28 年 3 月 1 日から 4 月 15 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、2 名の応募があり、選考委員会において、以下の 2 名の研究者に対して助成を行うことを決定し、総額 180 万円の助成を実施しました。

- | | | |
|---|---|--------|
| 1 | 視触覚クロスモーダルな質感形成の脳機能解明と質感評価システムの提案
岡山大学 工学部 助教 楊 家家 | 900 千円 |
| 2 | ラマン分光技術の習得と共同研究「共溶媒が誘起するタンパク質の構造変化における疎水効果の理解」
岡山大学 大学院 自然科学研究科 特任助教 望月 建爾 | 900 千円 |

2. 研究者交流事業

定款第4条第1項第6号に掲げる事業は、次のとおり総額1,014千円を実施しました。

(1) 交流会事業

この事業は、助成を受ける研究者とその関係者の交流並びに情報交換を目的に、ANAクラウンプラザホテル岡山にて立食パーティー形式の交流会を開催しました。

終始なごやかな雰囲気での交流がなされ、事業費としては、912千円を支出しました。

(2) 研究発表会事業

この事業は、助成を受ける研究活動における最先端技術の開発状況を研究者が自ら発表することにより、研究成果の普及を促し、各分野における技術開発の推進及び発展に寄与することを目的に行うものです。平成28年度は、平成29年1月24日にANAクラウンプラザホテル岡山で開催しました。当日は80名が受講し、研究内容について様々な質問がなされ、最先端技術への関心の深さが伺えました。

なお、研究発表者は以下の4名で、事業費としては、102千円を支出しました。

- 1 (平成27年度学術研究費助成)
「河川堤防の安全な維持管理のための総合的照査方法の確」
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 助教 金 兼洙
- 2 (平成27年度学術研究費助成)
「人体近傍生気象現象の把握と温熱環境評価モデルの構築」
岡山県立大学 情報工学部 助教 島崎 康弘
- 3 (平成27年度学術研究費助成)
「簡易なUAVを用いた斜面形状取得と斜面変状評価手法の開発」
岡山理科大学 生物地球学部 准教授 佐藤 丈晴
- 4 (平成27年度学術研究費助成)
「小児精神疾患治療を指向した経鼻薬物送達法の可能性を探る薬物動態学的研究」
就実大学 薬学部 助教 井上 大輔

(3) 事業報告書の作成

平成28年度の事業状況及び学術研究費助成の研究成果報告書をまとめた事業報告書150部を作成しました。

3. 優秀研究者表彰事業

この事業は、当財団の研究活動費助成事業で実施した研究をもとに、学会等に論文として発表することで学術的に評価された研究実績を上げた研究者や、研究成果を実用化させるなど大きく社会に貢献・活用される功績を上げた研究者を表彰するものです。

第1回目となる平成28年度は、8名の応募があり、審査の結果、受賞者は以下の2名に決定しました。

- ① 阪口 政清 (岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 准教授)
【研究題目】 「独自に開発した超高効率遺伝子発現プラスミドベクターの抗体大量産生系への応用を目指した基礎研究」：平成26年度研究活動費助成事業
【審査評価】 研究成果を実用化させ、優れた社会的功績を上げている
- ② 岩永 哲夫 (岡山理科大学 理学部化学科 講師))
【研究題目】 「高効率な発光を目指した有機蛍光材料の開発」
：平成25～27年度研究活動費助成事業
【審査評価】 研究成果を論文発表し、優れた学術的功績を上げている

平成 28 年度受賞者の表彰式は、平成 29 年 5 月 29 日に開催され、表彰状と副賞（研究奨励金 30 万円）がそれぞれの研究者に贈呈されます。尚、この表彰事業は、平成 29 年度の予算により実施されます。

4. 処務の概要

(1) 役員に関する事項

理 事

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
理事長	山地 弘	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 代表取締役社長	
理 事	千葉 喬三	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 社外取締役	
理 事	波田 善夫	非常勤	無	岡山理科大学 教授	
理 事	大崎 紘一	非常勤	無	岡山商科大学 副学長	
理 事	沖 陽子	非常勤	無	岡山大学 大学院 環境生命学研究科 教授	
常務理事	大倉 一夫	非常勤	無	株式会社ウエスコ 取締役四国支社長	

監 事

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
監 事	福原 一義	非常勤	無	福原一義公認会計士 事務所 公認会計士	
監 事	普門 仁利	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 経営管理本部経理部長	

評 議 員

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
評議員長	松原 利直	非常勤	無	株式会社ウエスコ 代表取締役社長	
評議員	藤原 健史	非常勤	無	岡山大学 大学院 環境学研究科 教授	
評議員	富田 栄二	非常勤	無	岡山大学 大学院 自然科学研究科 教授	
評議員	辻 英明	非常勤	無	岡山県立大学 学長	
評議員	泉 史博	非常勤	無	株式会社中国銀行 取締役会長	
評議員	倉本 英雄	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 監査役	

(2) 職員に関する事項

(平成29年3月31日現在)

職名	氏名	常勤非常勤の別	手当	担当事務	現職名	備考
職員	永山 彰	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホールディングス 社員	
職員	山本 祐	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコホールディングス 社員	

(3) 役員会等に関する事項**①理事会**

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成28年6月7日	<ul style="list-style-type: none">平成27年度事業報告及び付属明細書の承認の件平成27年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件平成28年度助成者決定の報告の件銀行借入額決定の件	承認可決された 承認可決された 事務局より報告した 事務局より報告した
平成28年10月21日	<ul style="list-style-type: none">株式会社ウエスコホールディングス定時株主総会における議決権行使の件	承認可決された
平成29年1月24日	<ul style="list-style-type: none">平成29年度事業計画承認の件平成29年度収支予算承認の件銀行借入の件	承認可決された 承認可決された 承認可決された

②評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
平成28年6月7日	<ul style="list-style-type: none">平成27年度事業報告及び付属明細書報告の件平成27年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書報告の件平成28年度助成者決定の報告の件銀行借入額決定の件	事務局より報告した 事務局より報告した 事務局より報告した 事務局より報告した
平成28年6月30日	<ul style="list-style-type: none">平成27年度事業報告・貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件	承認可決された
平成29年1月24日	<ul style="list-style-type: none">平成29年度事業計画承認の件平成29年度収支予算承認の件銀行借入の件	承認可決された 承認可決された 承認可決された

(4) 主務官庁等の許可、認可及び承認に関する事項

該当なし

(5) 寄付金に関する事項

該当なし

(6) 契約に関する事項

該当なし

(7) 主務官庁の指示に関する事項

該当なし

(8) 税法上の収益事業の有無

該当なし

(9) その他の注意事項

該当なし

5. 事業報告書の付属明細書

平成 29 年 3 月期における重要事項は無く、期末における事業報告書の付属明細書に記載すべき事項はありません。

貸借対照表

平成29年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度 (H29/3/31)	前 年 度 (H28/3/31)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,101,197	5,252,773	3,848,424
未収金	5,000	0	5,000
預け金	864	0	864
流動資産合計	9,107,061	5,252,773	3,854,288
2. 固定資産			
基本財産			
投資有価証券	684,042,000	538,219,000	145,823,000
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	704,042,000	558,219,000	145,823,000
固定資産合計	704,042,000	558,219,000	145,823,000
資産合計	713,149,061	563,471,773	149,677,288
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	654,000,000	508,000,000	146,000,000
投資有価証券	30,042,000	30,219,000	△ 177,000
受贈定期預金	20,000,000	20,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	704,042,000	558,219,000	145,823,000
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
指定正味財産合計	704,042,000	558,219,000	145,823,000
2. 一般正味財産	9,107,061	5,252,773	3,854,288
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	713,149,061	563,471,773	149,677,288
負債及び正味財産合計	713,149,061	563,471,773	149,677,288

正味財産増減計算書

平成28年4月1日 から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度 (H28.4.1-H29.3.31)	昨年度 (H27.4.1-H28.3.31)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産有価証券受取利息	522,000	522,000	0
基本財産受取利息	5,000	9,763	△ 4,763
基本財産受取配当金	20,000,000	16,000,000	4,000,000
有価証券売却益	365,400	0	365,400
基本財産運用益計	20,892,400	16,531,763	4,360,637
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	0	0	0
特定資産運用益計	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金計	0	0	0
③ 雑収益			
海渡航事業費返金	150,000	0	150,000
受取利息	126	1,046	△ 920
雑収益計	150,126	1,046	149,080
経常収益計	21,042,526	16,532,809	4,509,717
(2) 経常費用			
① 事業費			
支払助成金	14,000,000	13,600,000	400,000
印刷費	469,800	509,760	△ 39,960
旅費交通費	200	500	△ 300
会議費	1,014,231	790,468	223,763
通信費	23,972	41,403	△ 17,431
消耗品費	19,214	3,209	16,005
事務委託費	394,000	392,000	2,000
家賃	86,000	88,000	△ 2,000
事業費計	16,007,417	15,425,340	582,077
② 管理費			
印刷費	37,800	0	37,800
交際費	50,000	0	50,000
会議費	46,349	69,800	△ 23,451
旅費交通費	0	0	0
通信費	686,828	16,298	670,530
租税公課	200	480	△ 280
事務手数料	2,348	18,423	△ 16,075
支払利息	19,527	20,219	△ 692
消耗品費	217,769	0	217,769
雑費	0	0	0
事務委託費	96,000	98,000	△ 2,000
家賃	24,000	22,000	2,000
管理費計	1,180,821	245,220	935,601
経常費用計	17,188,238	15,670,560	1,517,678
当期経常増減額	3,854,288	862,249	2,992,039
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	3,854,288	862,249	2,992,039
当期一般正味財産増減額	3,854,288	862,249	2,992,039
一般正味財産期首残高	5,252,773	4,390,524	862,249
一般正味財産期末残高	9,107,061	5,252,773	3,854,288
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益	145,823,000	0	145,823,000
基本財産評価損	0	186,379,500	△ 186,379,500
当期指定正味財産増減額	145,823,000	△ 186,379,500	332,202,500
指定正味財産期首残高	558,219,000	744,598,500	△ 186,379,500
指定正味財産期末残高	704,042,000	558,219,000	145,823,000
III 正味財産期末残高	713,149,061	563,471,773	149,677,288

正味財産増減計算書内訳表

平成28年4月1日 から平成29年3月31日まで

(単位：円)

科 目	平成28年度 (H28.4.1-H29.3.31)			
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産有価証券受取利息	522,000			522,000
基本財産受取利息	5,000			5,000
基本財産受取配当金	19,000,000	1,000,000		20,000,000
有価証券売却益	365,400			365,400
基本財産運用益計	19,892,400	1,000,000		20,892,400
② 特定資産運用益				
特定資産受取利息	0			0
特定資産運用益計	0			0
受取寄付金	0			0
受取寄付金計	0	0		0
③ 雑収益				
海渡航事業費返金	150,000			150,000
受取利息	126			126
雑収益計	150,126	0		150,126
経常収益計	20,042,526	1,000,000		21,042,526
(2) 経常費用				
① 事業費				
支払助成金	14,000,000			14,000,000
印刷費	469,800			469,800
旅費交通費	200			200
会議費	1,014,231			1,014,231
通信費	23,972			23,972
消耗品費	19,214			19,214
事務委託費	394,000			394,000
家賃	86,000			86,000
事業費計	16,007,417	0		16,007,417
② 管理費				
印刷費		37,800		37,800
交際費		50,000		50,000
会議費		0		0
旅費交通費		46,349		46,349
通信費		686,828		686,828
租税公課		2,348		2,348
事務手数料		217,769		217,769
支払利息		200		200
消耗品費		19,527		19,527
雑費		96,000		96,000
事務委託費		24,000		24,000
家賃		0		0
管理費計	0	1,180,821		1,180,821
経常費用計	16,007,417	1,180,821		17,188,238
当期経常増減額	4,035,109	△ 180,821		3,854,288
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
税引前当期一般正味財産増減額	4,035,109	△ 180,821		3,854,288
当期一般正味財産増減額	4,035,109	△ 180,821		3,854,288
一般正味財産期首残高	4,890,806	361,967		5,252,773
一般正味財産期末残高	8,925,915	181,146		9,107,061
II 指定正味財産増減の部				
基本財産評価益	138,531,850	7,291,150		145,823,000
基本財産評価損	0	0		0
当期指定正味財産増減額	138,531,850	7,291,150		145,823,000
指定正味財産期首残高	530,289,075	27,929,925		558,219,000
指定正味財産期末残高	668,820,925	35,221,075		704,042,000
III 正味財産期末残高	677,746,840	35,402,221		713,149,061

財務諸表に対する注記

平成 28年4月1日 から平成29年3月31日 まで

1. 継続事業の前提に関する注記

該当はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券は、期末日の市場価格等に基づく時価法によります。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式を採用しています。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000
投資有価証券	538,219,000	176,042,000	30,219,000	684,042,000
小計	558,219,000	196,042,000	50,219,000	704,042,000
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	558,219,000	196,042,000	50,219,000	704,042,000

(注) 投資有価証券の当期増減額は、前事業年度末における帳簿価額と時価の差額（評価損益）と期中の有価証券の取得および売却を表示しております。

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	20,000,000	0	0
投資有価証券	684,042,000	684,042,000	0	0
小計	704,042,000	704,042,000	0	0
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	704,042,000	704,042,000	0	0

6. 担保に供している資産

該当はありません。

7. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当はありません。

8. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当はありません。

9. 重要な後発事象

該当はありません。

10. 関連当事者との取引の内容

該当はありません。

11. その他

該当はありません。

財産目録

平成29年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
1. 流動資産			
現金預金			
普通預金	山陰合同銀行/岡山支店	運転資金として	77,305
普通預金	中国銀行/奉還町支店	"	9,023,892
現金預金合計			9,101,197
未収金	中国銀行/奉還町支店	定期預金利息として	5,000
預け金	SMBC日興証券株式会社	金銭残高として	864
その他流動資産	その他流動資産合計		5,864
流動資産合計			9,107,061
2. 固定資産			
基本財産			
投資有価証券	ソフトバンク株式会社社債	公益目的保有財産であり、運用益を助成事業の財源として使用している	30,042,000
定期預金	中国銀行/奉還町支店	"	20,000,000
投資有価証券	株式会社ウエスコホールディングス株式2,000千株 内、618千株について貸株契約を締結している	公益目的保有財産であり、運用益の95%を研究助成事業等の財源として使用し、残り5%は管理費等の財源として使用している。 当該株式は、貸借銘柄であり日本証券金融株式会社との間に貸株契約を締結している。	654,000,000
基本財産合計	基本財産合計		704,042,000
固定資産合計			704,042,000
資産合計			713,149,061
1. 流動負債			
流動負債合計			0
負債合計			0
正味財産			713,149,061